

(様式第4号)

第11回武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	平成29年2月15日 午後7時00分から午後9時00分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	会長児玉卓文委員、副会長柿島勲委員、新井徳委員、伊藤孝委員、大草ひろみ委員、北澤千津子委員、児玉けさみ委員、小山ひとみ委員、桜井久美子委員、鈴木三千夫委員、高橋みち子委員、滝沢友子委員、竹内茂委員、成田英雄委員、橋詰和夫委員、廣川光子委員、宮島友和委員、山岸誠委員、依田真澄委員 【欠席委員1名】
5 市側出席者	木藤地域自治センター長、依田地域振興課長、下村市民サービス課長 滝沢産業建設課長、藤極丸子・武石上下水道課長、清住武石教育事務所長 小林地域担当職員、大平地域政策係長、岩木隊員、前田隊員
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	平成29年2月27日

協議事項等

全体進行(依田次長)

会議資料の確認及び出欠席委員の確認。

1 開会(柿島副会長)

2 地域協議会長あいさつ(児玉会長)

本日は11回目の武石地域協議会の開催。

わがまち魅力アップ応援事業について、武石地域の主な施策と基金活用状況について、情報伝達システムの構築について、新たな住民自治組織の専門部会について、協議をお願いしたい。

3 報告・協議事項

(1) わがまち魅力アップ応援事業について(地域振興課)

(事務局) 平成29年度のわがまち魅力アップ応援事業の募集期間は平成29年1月23日から2月3日。

武石地域では3件の応募。事業は前年度からの継続事業であり、事業内容等は選考時点と大きな変更がないので改めて選考は行わない。

(委員) 改めて選考をしないことを確認。

(2) 平成29年度武石地域の主な施策と基金活用状況について(各課所)

(事務局) 各所属長から平成29年度に予算要求している主な施策について。

地域振興事業基金を活用した平成29年度に予算要求している事業は、巢栗溪谷緑の広場の木製施設整備事業、公園化構想を推進するための樹木破砕機、乗用草刈機等の維持運営費用、獣害防止対策、自治会への苗木等支給事業、福寿草アジサイ公園の遊歩道整備事業、桜並木の維持管理委託、ともしび博物館の開館30周年に向けた施設整備事業。基金残高については、合併当初は3億7千9百万円余、平成28年度末は2億6千4百万円余の基金残高見込み。

(委員) 福寿草群生地と福寿の水の状況はどうなっているのか。

(事務局) 地元の皆さんが新たに植えたり草刈をしているが、増えていない。遊歩道の整備等は市が実施している。福寿草祭などは自粛している。福寿の水については市で管理していない。

(委員) 福寿草やアジサイの花がまったく咲いていないわけではないので、遊歩道の整備は進めてほしい。奨学基金積立金は28年度の単年度だけに計上されている理由は。

(事務局) 新しい奨学金制度として全市に取り入れた制度で、武石地域の財源として約10年間分を積み立てた。

(3) 情報伝達システムの構築について(地域振興課)

(事務局) 武石地域の情報伝達システム構築に向けたこれまでの協議事項を説明。方向性が出ていない課題について引き続き検討願いたい。

(委員) 地域協議会としての方向性を取りまとめて早急に市へ意見書を提出し、29年度にシステムの導入を目指したい。

(4) テーマ別の協議について(専門部会検討)

(事務局) ジェイエイ武石店の店舗が2月末で閉店する。買い物が不便になるなどの声を聞いていれば部会検討の中で取りまとめてほしい。

(産業経済に関する部会、生活福祉子育てに関する部会)

情報伝達システムの無線発信と受信設備は全額基金を活用して整備してほしい。維持管理費用は受益者負担とするが、必要性を説明することで加入者を増やし、維持管理費の戸別負担金を安くしたい。運営主体は新たな住民自治組織とし、アナウンス等業務の委託は可能とする。高齢者等の負担軽減は75歳以上の独居世帯を軽減対象とする意見と負担軽減は行わない意見に分かれた。有料放送については、地域内からの放送は無料、地域外からの放送依頼は有料とし、細則などを作る必要がある。

4 その他

(1) 次回以降の会議等日程について

・第12回武石地域協議会3月15日(水)午後7時~

(2) 新たな住民自治組織の専門部会について

(事務局) 地域協議会委員が新たな住民自治組織六専門部会に所属する案を作成した。各委員、所属する部会の変更を希望される場合は事務局へ連絡願いたい。

5 閉会(柿蔭副会長)